

科目ナンバリング		G-LET27 67031 LJ38									
授業科目名 <英訳>		考古学(特殊講義) Archaeology (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 准教授 向井 佑介			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	火2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		中国初期仏教寺院の考古学的研究									
【授業の概要・目的】											
<p>インドに起源する仏教は、漢代に中国へと伝えられ、「浮図祠」などと呼ばれる寺院建築が建立されたことが文献史料に記載されている。一方、考古学的調査によって確認された寺院遺跡は5世紀後葉の例がもっともふるく、それ以前の状況はわずかな文献史料と図像資料から推測しうるにすぎない。この講義では、おもに5世紀までの考古資料・図像資料・文献史料をもとに、仏教寺院と仏塔の具体的様相をさぐる。それにより、中国初期仏教寺院の成立過程とその特質を明確にすることを目指す。</p>											
【到達目標】											
<p>仏教東伝の過程においては、中国に伝来し、中国で変容をとげた仏教文化が、東アジア各地へとひろがっていった。この講義では、仏教寺院の遺跡と遺物を主要な題材として、仏教寺院の中国的変容の過程を理解することを目的としている。また、この時代の仏教寺院を研究するためには、考古資料のみならず、文献史料・図像資料をあわせて検討することが必要であり、歴史考古学・美術考古学の方法論や課題を学ぶことを本講義のもうひとつの目的としたい。</p>											
【授業計画と内容】											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国初期仏教寺院研究の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> 中国初期仏教寺院の研究史と課題 中国仏教考古学の資料と方法 2. 中国初期仏教寺院の探求 <ul style="list-style-type: none"> 中国初期仏教図像の検討 「浮図祠」の建築 楼閣式仏塔の思想 3. 北魏前期仏教寺院の遺構と遺物 <ul style="list-style-type: none"> 北朝の瓦編年 雲岡石窟の寺院景観 方山永固陵と思遠仏寺 思燕仏図の発見 懷朔鎮仏寺の探索 北魏舍利石函と埋納品 4. 北魏仏塔の図像と寺院空間 <ul style="list-style-type: none"> 雲岡石窟の仏塔意匠 北魏石塔の研究 仏塔と寺院空間 まとめ 											
----- 考古学(特殊講義)(2)へ続く -----											

考古学(特殊講義)(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点（小レポートなど）20%と学期末レポート80%をあわせて評価する

[教科書]

毎回レジュメを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

日頃から自身の専門以外のさまざまな学問分野に目を向けるとともに、学内外の博物館施設などを利用して積極的に実物資料を見学するよう努めること。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。